

No.508

平成23年(2011年)

# 金武 広報



本日、平成二十三年度第二回金武町議会三月定例会の開会にあたり、提案しております平成二十三年度の予算をはじめ、諸議案の説明に先立ち、町政運営に対する所信を申し上げます。

## はじめに

平成23年第2回金武町議会3月定例会の冒頭、儀武剛金武町長が平成23年度の施政方針演説を行いました。以下、施政方針の全文を掲載します。



▲平成23年度の施政方針演説を行う儀武町長

## 平成二十三年度 施政方針

## 町政運営の基本方針

昨年四月、町民の皆様から信託を頂き、町長として三期目の重責を担うことになりましたが、ここで改めて町民及び議員各位に感謝申し上げるとともに、私に課せられた責任の大きさに身

の引き締まる思いであります。これからも「公正・公平で民主的な町政」「清潔・誠実な町政」「世代を超え、町民の知恵と経験を生かし希望をもてる町政」の二つの政治姿勢を基本に、本町が抱える諸問題の解決に向けて全力で取り組んでいきます。

町政運営にあたっては、「希望の持てるまちづくりと一緒に考え、町民参加型の町政を推進し、ともに考え行動すること」を念頭に置き、町民の声に耳を傾け、同じ目の高さで思い合えるまちづくりを目指し、各種施策を進めていきます。

さて、本町では子育て支援の充実やギンバル訓練場跡地利用など町の課題に対応するため、平成十九年四月より副町長二人体制で町の事業を執行し、各種施策に取り組んできました。現在も、依然として福祉、教育、産業振興等、取り組まなければならない課題が残されていますが、ギンバル訓練場の返還に目処が立ったことや、幼保一体施設、堆肥センターの完成、農業集落排水事業等が順調に進捗しているなど、平成十九年度に比べて状況に変化があり、このような状況を総合的に勘案して本年度から副町長を一人制としま

す。

副町長一人制へ移行して、町の事業を円滑に推進するために、今後、町の組織改革を行うとともに職員個々の事業執行能力を高める必要があります。

具体的には、保育所と幼稚園運営のあり方について課題を整理しながら、「子ども支援課(仮称)」の設置を検討します。

また、ギンバル訓練場の返還に目処が立ったことから、跡地利用計画の推進と導入施設等の管理運営を踏まえて、「商工観光課(仮称)」の設置を検討するとともに、農業委員会事務局のあり方について協議していきます。

さらに、農業集落排水事業につきましては、特別会計を設けてその予算を管理する必要があることから、「上下水道課(仮称)」の設置を検討します。

以上のように、各課・局の事務分掌を本年度で見直し、平成二十四年度を目処に機構改革を実施するとともに、職員個々の事業執行能力を高めるため、これまで以上に職員研修等を充実させ、各職員の資質向上を図り、町行政の円滑な推進体制を強化していきます。

一方、近年の経済状況の悪化

は、町民生活に大きな影響を与えており、町民は生活に不安と不満を感じていることだと思えます。本町では、町民の生活水準の維持・向上と経済的負担の軽減を図るため、本年度で関係条例の整備を行い、平成二十四年分から個人町民税一〇％を恒久減税し、安心して生活ができる環境を整えていきます。

これからも本町の発展のために初心を忘れず、謙虚に、誠実にそして信念を持ってまちづくりに邁進していく決意でありますので、議員各位及び町民の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

以下、平成二十三年度の予算、主要施策について順次ご説明申し上げます。

## 平成二十三年度予算

国の地方財政への対応としては、平成二十三年度は企業収益の回復等により、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が増加する一方、社会保障関係経費の自然増や公債費が高い水準で推移すること等により、

定員純減や人事委員会勧告等の反映に伴い給与関係経費が大幅に減少してもなお、依然として大幅な財源不足が生じるものと見込んでいます。

このため、「財政運営戦略」に基づき、社会保障関係経費の自然増に対応する地方財源の確保を含め、交付団体始め地方の安定的な財政運営に必要となる地方の一般財源総額について実質的に平成二十二年度の水準を下回らないよう確保することを基本として、平成二十三年度の地方財政への対応を行うこととしていきます。

平成二十三年度の地方財政規模は、約八二兆五、〇〇〇億円程度で、対前年度比〇・五％の増、地方交付税につきましては、対前年度比二・八％の増、地方税及び地方譲与税は、対前年度比三・三％の増、臨時財政対策債は、対前年度比二〇・一％の減となっています。

本町の平成二十三年度予算編成においては、国の地方財政計画の動向を踏まえ、国・県等の補助金や基金の有効活用を図りながら事業の妥当性・必要性・有効性・効率性等を念頭に置き、効果的な事業実施に努めていきます。

予算額につきましては、

一般会計

九、四五六、〇四〇千円

特別会計

二、一三三、二六六千円

(特別会計内訳)

金武町有線放送電話事業特別会計

二六、四六三千円

金武町国民健康保険事業特別会計

一、九八一、七七〇千円

金武町後期高齢者医療特別会計

一二五、〇三三千円

合 計

一一、五八九、三〇六千円

となり、平成二十二年度に比べ一般会計で二二・六二％の増、特別会計で一・五一％の増、合計では、一八・一〇％の増となっています。

## 主要施策の説明

### 「心のふれあう 健康福祉のまちづくり」

#### (健康づくりの充実)

町民の健康づくりににつきましては、妊娠から乳幼児期、高齢期までの各年齢期の健康課題に着目し、きめ細かな事業を展開しています。

妊娠期につきましては、今後も妊婦健康診査、マタニティー教室、個別の保健指導等の充実を図り妊婦の誰もが安心して出産できる支援体制に努めます。乳幼児期につきましては、乳児健康診査、一歳六カ月健診、三歳児検診を実施し、発育状況の確認等を行うことで、乳幼児のすこやかな成長の支援を行います。

成人期につきましては、本町独自に実施している二十歳から四十歳未満の基本健康診査、四十歳以上の特定健康診査等の実施、高齢期につきましては、七十五歳以上の長寿健康診査の実施、さらに、二十歳以上の全町

民を対象とした各種がん検診の費用助成を併せて実施すること、受診率の向上を目指し健診体制の充実を図ります。また、各種健康診査において、異常値等を指摘された町民に対しては、保健指導の徹底と二次健康診査の充実に努めます。

予防接種事業につきましては、乳幼児期に新たに流行性耳下腺炎ワクチン、水痘症ワクチン等の予防接種を追加し、また、女性特有の子宮頸がんにつきましては、十三歳から十八歳に対し、子宮頸がん予防ワクチン接種を実施していきます。高齢期につきましましては、高齢者の肺炎を予防するために六十五歳以上を対象に肺炎球菌予防接種を実施していきます。さらに、すべての町民を対象とした季節性インフルエンザワクチン接種を実施し、町民の健康づくりと併せて疾病予防に努めていきます。

#### (医療制度について)

本町では、町民の経済的負担の軽減を図るため、基本健康診査、特定健康診査の自己負担分を無料としており、今後も同制度の周知徹底を行いながら医療費の抑制に努め、受診率の向上

を図ります。

後期高齢者医療制度につきましましては、国において制度改正の検討がなされ、新たな制度が実施される予定となっています。

今後は、国の動向をみながら対応していきませんが、本町においては、引き続き保険料の均等割分を補助します。

#### (福祉の充実)

児童福祉につきましては、保護者の経済的負担を軽減し、安心して本町で子育てができるよう乳幼児医療費助成事業及び子育て激励金の支給を実施します。また、放課後児童健全育成事業につきましましては、子どもの居場所づくりや共働き世帯等を支援するため各区との連携を図りながら実施していきます。

町立保育所につきましては、子育て家庭に対する待機児童の解消に努めるとともに、今後、町立保育所・幼稚園運営のあり方検討委員会の報告書に基づいて、幼保一体化の拡充を図りながら一部町立保育所の民営化に向けて取り組んでいきます。認可外保育所の支援につきましましては、町立保育所との格差が生じないよう、子どもたちが等しく

健やかに育つように、これまで進めてきた本町独自の支援策として、教材費、職員の研修費、園の行事費、衛生処理関係管理費、給食材料費の助成を行っていきます。

高齢者福祉につきましては、団塊の世代を中心として今後、高齢化が進展する中で福祉サービスの充実に向け、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう各種事業を実施します。

また、高齢者の介護予防事業につきましましては、チャームがんじゅう教室の中で身体機能低下を予防するため、筋力トレーニングや口腔機能向上を実施し、すこやかライフサポートサービス事業と連携しながら、高齢者の健康の保持・増進に取り組んでいきます。さらに、地域包括支援センターにおいて、高齢者の生活を総合的に支援し、より一層の高齢者サービスの充実に努めるとともに、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう介護福祉サービスの充実を図ります。

障害者福祉につきましては、障害者自立支援法の一部改正に伴い利用者に対するサービスが円滑に行えるよう、制度内容の周知に努めていきます。また、



障害者が地域で自立した生活が送れるよう支援していきます。

## 「健やかで薰り高い 教育文化のまちづくり」

### (学校教育の振興)

町の教育行政につきましては、家庭における教育費の経済的負担を軽減するため、幼稚園における入園料・保育料を無料にするとともに、幼児・児童・生徒の三人目以降の学校給食費を補助し、すべての子どもたちが健やかに育つよう支援していきます。また、共働きの家庭等を支援する施策である預かり保育につきましては、幼保一体化施設として整備された金武幼稚園において実施しています。今後は、同施策の推進に努め施設整備を図っていきます。

学力向上の推進につきましては、習熟度別や少人数指導など、よりきめ細かい授業が進められるよう、町費負担の学習支援等非常勤講師を配置します。また、基礎学力の向上、生徒指導の充実・強化を図るため外国人英語指導助手、教育相談員等を適宜

学校へ配置します。さらに、金武小学校において、本年四月から自閉症・情緒障害特別支援学級が新設されることから、今後も引き続き特別支援教育の充実に努めていきます。

学校教育における情報化につきましては、ICT整備事業等で購入した電子黒板の操作講習会や教材研究等を引き続き実施し、さらなる情報教育等の充実及び学力の向上を図っていきます。

教育施設整備につきましては、中川小学校体育館及び教室棟、金武中学校体育館、中川幼稚園園舎の耐力度調査を実施するとともに、嘉芸小学校管理・特別教室棟建設工事を実施します。

学校給食につきましては、食の流通や食への理解、関心を高め自然の恵みや生産者への感謝などの食育を推進するとともに、関係課と協議・連携しながら積極的な地元食材の活用に取り組んでいきます。



▲建設工事が実施される嘉芸小管理・特別教室棟

### (社会教育の振興)

生涯学習につきましては、町立中央公民館及び各地区公民館等が連携し、地域に根ざした生涯学習を推進していきます。また、歴史・文化を見つめ直す機会をつくるとともに、地域からの要望も踏まえながら、町民が積極的に参加できる講座、教室を開設します。町立図書館においては、多くの町民が本に親しんでもらえるよう読書フェスティバルの開催、ブックスタートの充実、各種講演会、展示会、

蔵書冊数の充実に取り組んでいきます。

スポーツの振興につきましては、競技力の向上やスポーツの振興を図るため、現在の町営グラウンドを全天候型陸上競技場として整備します。また、現在整備を進めている野球場施設につきましては、有効的かつ効率的な利用ができるよう施設内容の充実を図るとともに、これらのスポーツ施設を活用して、生涯スポーツの普及・啓発を推進しスポーツに対する町民の意識高揚を図り、地域活性化に繋がるよう取り組んでいきます。

青少年健全育成の推進につきましては、家庭教育が極めて重要であることから家庭教育講座を開催し、親と子が体験や学習を通して絆を深めながら、情報交換や学習機会の拡充に努めていきます。

また、金武町青少年健全育成連絡協議会の活動として、夜間パトロール等の地域自主活動を展開する町内各支部や学校現場との連携を図りながら、深夜はいかにより青少年の事件・事故を未然に防ぐ環境づくりに努めていきます。

地域文化の振興につきましては、地域発展に寄与する保護活



▲第4回世界のシマヌチュ大会

用策を推進するため、公民館や学校などと連携しながら町民が郷土の歴史・文化に接し、再認識する機会の充実に向けて取り組んでいきます。また、町民に優れた芸術文化や郷土の伝統芸能に接する機会を提供するとともに、本町の歴史・文化の調査研究を引き続き推進し、その成果を町民に提供していきます。

埋蔵文化財につきましては、ギンバル訓練場や億首川周辺をはじめ町内全域を対象とする予備調査を継続し、その保護と啓発普及に努めていきます。

国際交流の推進につきましては、海外移住者子弟等研修生受入事業、青年海外派遣事業を引き続き実施し、各国町人会並びに海外との交流をとおして相互交流のできる人材を育成するとともに、研修内容の充実に図っていきます。

また、本年十月に沖縄県主催の第五回世界のウチナーンチュ大会が開催されます。本町では、同時期に第五回世界のシマヌチュ大会を開催し、様々なイベントをとおして町民と世界のシマヌチュとの交流を行い、海外移住先とのネットワークの拡充を図っていきます。

### 「水と緑の豊かな環境のまちづくり」

(生活環境・基盤の整備)

道路整備につきましては、ギンバル・億首間路線である町道金武二四二号線整備工事、町道金武一一五号線整備工事、町道金武二三五号線整備工事等を実施し、交通の利便性と安全性の向上を図ります。その他、未整備の道路及び行き止まり道路に

つきましては、段階的に整備を進めていきます。

屋嘉区前田川歩道橋設置につきましては、公民館へのアクセスや利便性、安全な環境整備のため、橋梁設置に向けて調査業務を実施します。

河川整備につきましては、美徳川において老朽化による崩壊、近隣田畑等への被害を未然に防ぐため、河川改修工事に係る用地購入を行い平成二十四年度の工事着手に向けて取り組んでいきます。



▲整備工事が実施される町道金武242号線

公園整備につきましては、町民の憩いの場として大川児童公園せせらぎ整備工事を実施します。また、既設する公園の遊具等付帯施設の改修・改善に努め、適切な維持管理を図っていきます。

上水道の整備につきましては、農業集落排水事業と並行して金武地区配水管布設工事を実施するとともに、伊芸地区簡易水道施設の浄水施設及び送配水管布設工事を実施します。また、地震時における給水機能を維持する目的で昨年実施した各浄水場の基礎調査と本年度実施する耐震構造計算等を基に耐震計画を作成します。

下水道の整備につきましては、屋嘉地区農業集落排水事業において、平成二十四年度の供用開始に向けてポンプ施設工事を実施し、当該事業の完了を目指します。また、並里・金武地区農業集落排水事業につきましては、処理施設と管路工事を実施するとともに、同地区二期工事においては、金武地区の管路工事を実施します。



## 「たのしく暮らせる 安心のまちづくり」

(環境衛生・消防・防災対策)

環境衛生につきましては、可燃ごみの排出量が増大し、それに伴い焼却処理に係る費用も増大していることから、その対応策として、ごみの分別を促進し可燃ごみの減量化を図るためにごみ袋の有料化を実施します。

一般廃棄物最終処分場及び焼却施設の建設につきましては、金武地区消防衛生組合と連携を図りながら建設を推進していきます。

墓地につきましては、県から許可事業が移譲されることに伴い、墓地建設の許可に際しては、墓地基本計画で定める墓地地域に限定するとともに、生活環境に配慮した墓地整備に努めていきます。

防災対策につきましては、本年度から利用開始する公共施設間の光回線を活用し、各地区公民館、各学校、保健福祉センター等を結び、防災情報の発信の充実・拡大を検討していきます。また、台風、津波、地震等

の様々な災害に対応できるよう避難所及び避難経路を検討し、地域防災計画の見直しを図り、地域と連携した避難訓練を計画していきます。

(基地関連について)

米軍演習に起因する騒音や基地被害につきましては、今後調査や監視を続け、関係機関等と連携しながら対応していきます。

米軍人、軍属による事件・事故等につきましては、国や県及び関係市町村で組織するワーキングチーム等において引き続き協議を重ね未然防止に努めるとともにキャンプ・ハンセンに赴任する兵隊を対象に行われるオリエンテーションの中で、町の実情を説明し、事件事故の未然防止を図ります。

また、基地所在市町村と連携を図りながら、基地負担の軽減と日米地位協定の抜本的な見直しを日米両政府に対して訴え続けていきます。

## 「豊かな活力のある 産業のまちづくり」

(農林水産業の振興)

農業の振興につきましては、新規就農者や担い手農家に対し、農業技術・経営ノウハウ等の実地研修の場や農業機械の受託など農業者のニーズに応じた総合的な支援体制の構築を図るため、昨年度に行った担い手農家支援プログラム策定調査を基に、用地や施設規模の詳細の検討を行っていきます。

有機農法の推進につきましては、金武町堆肥センターの運営充実にも努めながら高品質な有機系堆肥を活かした土づくりを促進し、「有機の里金武町」を目指します。また、生産向上と農家所得の向上を目的に有機農法推進とのバランスを勘案しながら、農家支援に努めていきます。

田芋・水稻につきましては、生産拡大と経営安定を図るため、昨年度から実施されている農業者戸別所得補償制度の周知を図りながら、より多くの生産農家が同制度を活用できるよう努めていきます。

さとうきびにつきましては、引き続き收穫機械等の活用を促進し、作業効率の向上に努めていきます。また、反収の向上・増産に向けて、收穫作業後の株出し管理や補植作業を促進していきます。

野菜及び果樹につきましては、施設栽培を中心に収量と品質の向上に努め、安全・安心な農作物のブランド化を図っていきます。また、マンゴー、パイナップルにつきましては、生産拡大及び栽培技術の向上を図りながら拠点産地を目指します。

農業基盤の整備につきましては、県営小浜地区かんがい排水事業において、取水施設整備工事を実施します。喜瀬武原地区かんがい排水事業につきましては、当該地域内の県道及び水路の改修工事の進捗に合わせた整備を図っていきます。並里地区かんがい排水事業及び伊芸地区かんがい排水事業につきましては、早期の事業採択を図っていきます。また、屋嘉地区かんがい排水事業の完了に伴い、同地区を金武町土地改良区に編入し、運営充実を図っていきます。その他、土地改良区内の排水路の整備と武田原橋梁の架け替えを引き続き実施していきます。

畜産業につきましては、優良種の導入と飼育技術による農家の所得向上を図るとともに、家畜伝染病の予防のため、予防注射の実施や立ち入り制限等の指導を行います。また、飼育頭数に見合った草地確保や生産基盤の拡大に向けた検討を行っています。

水産業につきましては、定置網及びモズク網の洗浄作業効率化のための洗網機、鮮魚及びソデイ力等の出荷調整のための冷凍設備、漁獲高向上のための小型定置網の設置を進め、生産基盤の向上を図りながらセリ業務の活性化に繋がるよう努めていきます。また、稚魚の放流等による作り育てる事業を推進するとともに、青年漁業士や漁業指導士の育成に取り組みます。

林業の振興につきましては、特用林産物ぶなしめじ生産施設の運営充実を引き続き図っていくとともに、新規特用林産物の生産施設導入に向けた市場調査等を行っていきます。また、森林保護と水源涵養機能の向上を図るため、屋嘉区において造林事業を引き続き実施していきます。

町営苗畑施設につきましては、播種設備の活用による苗生産の

効率化を進め、草花類の生産量拡大と国道沿いの花壇管理の充実を図るとともに、地域や各種団体等への苗配布・普及に努め、緑豊かなまちづくりを推進します。

#### (商工・観光業の振興)

商工業の振興につきましては、町商工会との連携を図り地域商品券事業の拡大を行い、町内購買力の向上に努めるとともに、空き店舗対策等による商店街の活性化を図っていきます。

特産品加工施設につきましては、これまで関連企業との連携によるアイスクリームや菓子パンなどの商品開発を行ってきました。今後も運営充実を図るとともに、特産品の付加価値向上と農家の所得向上に努めます。

観光業の振興につきましては、ネイチャーみらい館の運営充実と修学旅行の生徒を対象とした民泊事業等を促進するとともに、利用者のニーズに応えるための取り組みや地域の資源を活かした体験プログラムの充実に努めていきます。昨年、一部供用開始された億首川プロムナードにつきましては、利用者等の利便性の向上を図るため、億首川東

側に休憩施設等を整備していきます。また、地域の若者等が関われる体制づくりを推進し、雇用の創出や地域活性化を図っていきます。さらに、町内周遊がしやすい環境整備のため案内看板の設置を行います。

雇用対策につきましては、引き続き国の地域雇用創造推進事業の活用による総合窓口の設置、人材育成のための各種講座及び研修等を実施します。また、駐留軍等労働者をはじめその他事業所等への町民の優先雇用の要請を行っています。

失業対策事業につきましては、町単独事業による町内環境美化をはじめ、補助金を活用した農道清掃業務、観光・自然体験プログラム強化事業等を実施します。

#### 「まちづくりを 推進するために」

町民や各種団体及び審議会の協力のもと、第四次金武町総合計画後期基本計画を策定中であり、本定例会中に報告する予定となっています。今後、本町の将来像である「心豊かな明るい健康文化のまち」の実現のため、

め、同計画に沿った施策を推進していきます。

地方分権につきましては、今後、国や県において益々権限移譲が進められることから、基礎自治体である町の果たす役割が重要になっていきます。町としては、県が主催する小規模町村行政体制整備研究会に参加し、行政サービスの維持・向上について調査・研究をしながら、住民生活における利便性が図られるものから受け入れていきます。本年度は、旅券申請業務及び墓地建設許可業務の窓口を住民生活課に設置します。



## 町政発展のための展開

億首ダム建設につきましては、平成二十一年度から本体工事が開始され、本年二月には基礎工事の定礎式が行われました。本年度は、引き続き本体工事を実

施するとともに周辺整備の工事が着手される予定となっております。町としては、平成二十五年度の完成に向けて国・県と連携しながら同ダム建設を促進してまいります。

国道金武バイパスにつきましては、町道一一一号线と交差する金武中学校付近から金武漁港



▲億首川周辺の整備計画イメージ

付近までが本年三月三十日に一部供用開始予定となっております。本年度は金武中学校付近から中川区にかけての一部工事と用地買収が行われることになっていきます。町としては、今後も国・県と連携しながら早期開通を目指してまいります。

電線共同溝整備事業につきましては、平成二十二年度に住民説明会を開催するとともに実施設計を行いました。本年度は、金武給油所付近から金武町役場前付近までの工事が開始されることから、国・県と連携し同事業を推進してまいります。

ギンバル訓練場につきましては、本年四月以降に返還手続きがなされ、七月に米国側から日本側に返還される予定となっております。これまで用地買収を実施し、地域医療施設、リハビリ関係施設の基本設計、幹線道路等の概略設計が終了しています。今後は地域医療施設等の実施設計や道路・造成の基盤整備工事等を実施するとともに、関係機関や民間企業との調整を綿密に行い、跡地利用計画を推進していきます。また、跡地利用における町民の雇用を促進するため、就労内容の啓発や就労支援を実施してまいります。

## おわりに

以上、平成二十三年度の町政運営の基本方針並びに主要施策の概要を説明いたしました。私は、これからの金武町の更なる発展に向けて、職員とともに自ら先頭に立ち、町民と協働のもと事業の推進に全力を尽くしてまいります。議員各位をはじめ、町民の皆様の一層のご理解、ご協力をお願い申し上げ、平成二十三年度の施政方針といたします。

平成二十三年三月八日

金武町長 儀武 剛